

北陸学院創立140周年記念講演

いのちに驚く対話

—いのちとくらしに寄り添う対話から見える、生きるということ—

北陸学院大学 教授

田中 純一 氏

専門：災害社会学・災害復興論



認定チャップレン

岡田 圭 氏

元ニューヨーク訪問看護サービス
ホスピス緩和ケア勤務



対 談

能登半島地震から、まもなく2年。
被災地での支援や終末期ケアの現場では、
「いのち」や「くらし」、「尊厳」に向き合う対話が静かに紡がれてきました。
誰かに寄り添い、ともに過ごす時間の中で見えてくる「生きる」ということ。
今あらためて、「よく生きる」とは何かを、共に考えてみませんか。
この対話は、あなたの価値観に揺さぶりを与えるきっかけになるかもしれません。

ファシリテーター：北陸学院学院長 堀岡 満喜子 氏



11/16 (SUN) 13:00～15:00 (開場12:30～受付開始)

【会場】北陸学院栄光館グロリアチャペル (金沢市飛梅1-10)

※駐車場はございませんので公共交通機関および近隣の有料駐車場をご利用ください。

参加費：1,000円

収益の一部は被災地のために使われます

パイプオルガン演奏

書籍販売・サイン会・展示会

能登から届いた手作り品、

能登の食材を使ったスイーツ販売など

お申込みはこちらから





北陸学院創立140周年記念講演

いのちに驚く対話

ーいのちとくらしに寄り添う対話から見える、生きるということー

登壇者プロフィール

★岡田 圭（おかだ けい）

上智大学外国語学部卒業後、ロータリー財団奨学生として渡米。美術専攻でニューヨークの美大を卒業後、舞台活動を経てユニオン神学校で神学修士を取得。

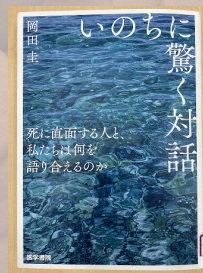
全米認定臨床チャップレンとして小児科エイズクリニックやHIVホームレス施設に勤務。

2006年からニューヨーク訪問看護サービスのホスピス緩和ケアに勤務し、終末期スピリチュアルケア・プログラムマネージャーを務める。

2021年退職後、昨年秋に著書『いのちに驚く対話』（医学書院）を刊行。

現在、国際スピリチュアルケア協会会員、臨床スピリチュアルケア協会（PASCH）顧問。

これまで欧米や日本での講演では、人の美観や創造性を医療や介護の現場で活かすことや、意図的に人を支えるために人と会い、話す時に起きることをどう意識し判断できるかを探求している。



当日会場で販売します！

★田中 純一（たなか じゅんいち）

北陸学院大学社会学部教授・地域教育開発センター長。博士（社会環境科学）。

専門は災害社会学・災害復興論。

これまで数多くの国内外の自然災害被災地での調査・研究・伴走型支援に関わりつつ、

2024年の能登半島地震では、北陸学院大学生と全国の学生と「ごちゃませチーム」を編成し、避難所や仮設住宅の環境改善、住民同士の交流、子どもの居場所づくりなどに力を注いできた。

「小さな声・声なき声に耳を澄まし、共に歩む」を大切にし、学生の純粋さが地域に希望をもたらすと語る。人と人とのつながりの中に復興の力を見だし、共に歩む姿勢を貫いている。